


2016年3月17日

各 位

会 社 名  株式会社 日阪製作所  
代 表 者 名 代表取締役社長 前田 雄一  
コード番号 6247  
上場取引所 東証 第1部  
問 合 せ 先 経営管理部部長 波多野 浩史  
電 話 番 号 06-6363-0007

**のれんの一時償却（連結）及び中国連結子会社の減損損失（連結）並びに  
関係会社出資金評価損（個別）の計上に関するお知らせ**

当社は、2016年3月17日開催の取締役会において、下記の通り、2016年3月期（2015年4月1日～2016年3月31日）において、のれんの一時償却（連結）及び中国連結子会社の減損損失（連結）並びに関係会社出資金評価損（個別）を計上することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

**1. のれんの一時償却の計上（連結）**

当社の中国連結子会社である中川工程顧問（上海）有限公司（以下、中川工程（※））の事業環境を精査した結果、同社に対する関係会社出資金の実質価額が著しく低下したことから、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」に基づき、2016年3月期の連結決算において、同社の出資金取得により生じたのれんの一時償却を行い、のれん償却額約134百万円を特別損失として計上することとなりました。

（※）中川工程は、当社の中国連結子会社である日阪（中国）機械科技有限公司（以下、日阪中国）の子会社であり、当社からは孫会社に当たります。

**2. 中国連結子会社の減損損失の計上（連結）**

日阪中国の事業環境を精査した結果、事業の収益性低下等により、同社が保有する固定資産（生産設備等）について減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に関する会計基準」に基づき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、2016年3月期の連結決算において、減損損失約646百万円を特別損失として計上することとなりました。

**3. 関係会社出資金評価損の計上（個別）**

上記の日阪中国の減損損失及び中川工程の実質価額の低下に伴い、日阪中国に対する関係会社出資金の実質価額が著しく低下したことから、「金融商品に係る会計基準」に基づき、2016年3月期の個別決算において、関係会社出資金評価損約880百万円を特別損失として計上することとなりました。

なお、当該関係会社出資金評価損については、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

**4. 今後の見通し**

本件に伴う、2016年3月期の連結業績及び個別業績の業績予想につきましては現在精査中であり、まとまり次第、速やかに公表いたします。

以 上